

令和5年度（生命の星・地球博物館）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
1. 業務執行体制の確保	計画に沿った適切な事務処理	<ul style="list-style-type: none"> 各部署の定期的な打ち合わせなどで業務の進捗状況を把握するとともに適切な進行管理に努めた。 主任、副主任の相互チェック、および上司への報告・連絡・相談を徹底した。 目標は達成できた。
2. 不適正経理処理の再発防止	経理処理に係る事故の防止	<ul style="list-style-type: none"> 管理課内での朝ミーティングやグループウェア活用を通して、支払期限等の情報を共有するなど事故の未然防止を図り、適正な経理処理に努めた。 主任、副主任の相互チェックを徹底した。 観覧料等の現金の取扱いについて、適正な処理を徹底した。 目標は達成できた。
3. 財産管理	財産管理に係る事故の防止	<ul style="list-style-type: none"> 毎日、巡回を行い、館運営に支障のおそれがある修繕は速やかに行うなど施設の安全管理の徹底を図った。 展示室の備品が破損したが、年度内に修理することができた。 目標は達成できた。
4. 個人情報等管理・情報セキュリティ対策	個人情報の収集、活用、保管等の適切な取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護と情報セキュリティの徹底に向けて職場研修を行い、意識の啓発を図る。 外部へメール送信する場合、アドレス等を複数でチェックするなどを必ず行い、個人情報漏えいが絶対ないようにした。 机上の整理整頓、キャビネットの施錠等の徹底を図っただけでなく、書類の紛失を防ぐために決裁済や決裁前の書類の保管場所を新たに設けた。 目標は達成できた。
5. 県民および来館者対応	来館者や、県民からの電話等に対する適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> 相手の立場に立った、丁寧かつ適切な対応を行った。 目標は達成できた。

6. セクハラ、わいせつ行為、パワハラの防止	セクハラ、わいせつ行為、パワハラのない職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・セクハラ、わいせつ行為、パワハラの根絶に向けて職場研修を行い、意識の啓発を図った。 ・明るく、活き活きとした職場づくりを推進した。 ・目標は達成できた。
7. 交通事故防止	交通事故、飲酒・酒気帯び運転の根絶 交通法規の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故、飲酒・酒気帯び運転の根絶に向けて職場研修を行い、意識の啓発を図った。 ・飲酒・酒気帯び運転は絶対しないよう職員相互で注意した。 ・交通法規を遵守するよう所属長から注意した。
8. 法令遵守意識の向上	法令遵守意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・法令や服務規律の遵守並びに信用失墜行為、県民の疑惑や不信を招く行為の根絶に向けて職場研修を行い、意識の啓発を図った。 ・過度の飲酒をしないよう職員相互で注意した。 ・目標は達成できた。
9. 収蔵・展示資料の安全管理	収蔵・展示資料の安全管理の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵・展示資料の整理・点検・保護に努め、定期的に確認を行った。 ・展覧会等で貸出・借用する資料について、安全な輸送を行うための措置を講じた上で、定期的に確認を行った。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題
(所属長意見)

各項目について、それぞれの目標の達成に向けて職員一同が努力した結果は上記のとおりである。全体として不祥事ゼロプログラムの取組は概ねできていると考えているが、一部達成できなかった項目があった。項目4については、再発防止の取組を実施し、継続して進めているところである。各項目・目標は、当館の事業推進上の課題を網羅していると考えているので、次年度以降においても一部達成できなかった項目を中心に取組を構築し、引き続きこれらの項目等に沿って鋭意不祥事防止に努めていきたい。